

顕彰

新日本スポーツ連盟で永年にわたり活動を継続しているクラブに対して、種目組織及び都道府県連盟への貢献ならびに永年の努力に対し、敬意を表し顕彰することにより、クラブの活動の継続を支援し、もって、種目組織及び都道府県連盟の活性化を図ることを目的とする。

○対象：新日本スポーツ連盟で永年にわたり活動を継続しているクラブ

○顕彰の種類・内容

◆ゴールド：30年以上（褒状）1992年1月1日以前から加盟 ※ただし、過去に顕彰されたクラブを除く

◆プラチナ：50年以上（褒状・記念品）1972年1月1日以前から加盟

第34期 顕彰クラブ 推薦一覧

	顕彰クラブ名	所属協（議）会名	申請組織名	期間
1	札幌ナイスミドルフレンドスキークラブ	(北海道勤労者スキー協議会)	北海道連盟	30年以上
	1981年、道スキー協が、若者たちが続々参加して活発な活動をしていたころ、40～50代の人たちが「自分たちの年齢にあった滑りのできる中高年対象のクラブを作ろう」と1986年12月に発足させました。以来100名をこえる時もあったが、現在は62名の会員です。冬はスキー例会・技術学習会・歩くスキーなど、北海道内に遠征しています。夏は軽登山、レク交流、パークゴルフなどで1年中活動・交流しています。モットー「楽しく、安全に、健康の保持に役立たせ、人生を謳歌する」			
2	琴似ステップ	(北海道勤労者スキー協議会)	北海道連盟	30年以上
	既に連盟に加盟していたタンネウエンシリから分離独立した。シーズンに6回の例会を行っている。例会は講習とフリー滑走を取り入れている。幹事会を月1回行い、年10回程度の会報を発行している。シーズン前に学習会を行っている。オフシーズンには、登山などを行っている。現在会員は17名（大人14名、子ども3名）で、指導員は5名で、例会は2～3班に分け、練習種目やレベルに応じて指導を行っている。道スキー協の常設スキー学校には指導員を派遣している。クラブとしては、家庭的な雰囲気を大切にしながら、スキー技術の向上のために理論学習と雪上の実践に真剣に取り組むことを方針としている。			
3	ジョイフル	(岩手県勤労者スキー協議会)	全国スキー協	30年以上
	スキークラブであるが年間通して行事を開催し、国内はもとより海外まで旅行を企画するなど活発に活動をしている。クラブ機関紙「ジョイフル」を毎月発行し行事の予定や参加者からの感想、原発問題についてや食の安全など内容が濃く、現在No.254号まで発行している。モットーは「会員みんなが参加できる行事の企画をして会員相互の親睦を図る」こと。尽き1回の役員会や年1回の定期総会も欠かすことなく実施している。現在会員数は20名。			
4	wスカイ	(石川県勤労者スキー協議会)	石川県連盟	50年以上
	クラブ結成のキッカケはヨーロッパツアーだと認識しています。この間、県スキー協が開催する「研修会」、「スキー映画会」、「スキーツアー」、「スキー合宿」などの行事の中心的役割を担ってきました。また、石川県連盟にとっても重要な位置づけのクラブです。			

5	京都ハイクファミリー		京都府連盟	30年以上	ハイキングやウォーキングは個人でもできるスポーツですが、安全に長続きさせ、人間的な喜びを得るためにも仲間の協力が不可欠です。また、集団の中でこそ積極性が生まれ、仲間の励ましの中で、新しい挑戦も育ちます。ハイキングを通じて連帯の輪を広げ、健康な暮らしを維持、増進します。行動には安全第一を心がける。
6	泉北ランニングクラブ	(大阪ランニングセンター)	全国RC	30年以上	第1次ランニングブームの折、当時の新体連とランニングでつながりのあった北出が、1984年に大阪南部のベッドタウンである泉北ニュータウンに引っ越したのを機に、泉北NT在住で新体連バレーボール協会にかかわっていた方と知り合い、安全で科学的な、そして、フルマラソンの記録向上を目指したランニングクラブを立ち上げようと地域に呼びかけ発足した。発足時は60名を超える会員が在籍し切磋琢磨し、地元でも強豪のクラブに成長した。反核平和マラソン、月例ランニング記録会も活動の中心柱として発足直後から取り組んだ。また、山西哲郎先生等をお招きし講習会もおこない、ランニング愛好者の裾野を広げることもできた。2017年長年開催してきた、月例ランニング記録会が全国ランニングセンターから認められず表彰の対象から除外されたのは非常に残念な出来事で、その理由が不明のまま未だ解決していない。現在、会員の高齢化や減少はあるが、国際交流、反核平和、月例ランニング記録会を継続して取り組んでいる。
7	スタイルワン	(中野区連盟)	東京都連盟	30年以上	加盟年、結成念に関する当時の資料がなく、くわしいことはわかりません。現在、90代1人、80代3人、70代1人の計5名の会員です。教室がなければ、家にひきこもりがちですが、週に1回でも話をする機会もあり、楽しんで泳いでいます。
8	S. C. ジャンプ	(東京水泳協議会)	東京都連盟	30年以上	
9	かるがもS. C	(東京水泳協議会)	東京都連盟	30年以上	
10	亀戸火曜クラブ	(東京水泳協議会)	東京都連盟	30年以上	新聞に海の水泳教室のチラシがあった。それを見た。そして、クラブ結成に参加した。 現在の活動: 週3回練習 クラブの特徴: みんな仲が良いです。 モットー:健康維持
11	水泳クラブおやしお	(東京水泳協議会)	東京都連盟	50年以上	水泳を楽しみ、泳力の向上を目指すとともに、「カナヅチをなくす」を目的とし、1970年に結成しました。